

戸畑駅～浅生～中原

戸畑区役所周辺には多くの史跡があり、石巡りを楽しめるエリアです。



旧戸畑区役所
昭和8年に戸畑区役所として建てられ、北九州市役所発足当時は市役所の本庁舎としても使われていました。



夢宮通り
飛船八幡宮まで続く通りで、アメリカ風の並木が特徴的です。



飛船八幡宮
戸畑祇園東大山笠の御宿です。



神宮蕎麦耕作地の碑
飛船八幡宮の境内では、他にも畑田、千夜ノ麓を見ることが出来ます。



浅生1号公園 戸畑区役所
毎年、7月の第3土曜日に「瀬戸間大山笠舞盆会が開催されます。公園内に設置されている「シオン像」は市道保武氏の作品です。



若山牧水歌碑
明治18年宮崎県生まれ。これは大正14年、戸畑の毛利田「楼を訪れた時に詠んだ歌が刻まれた歌碑です。



河科嘉記念石と国境石
旧「戸畑区役所庁舎」に設置されています。



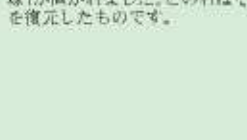
唐津街道戸畑一里塚
江戸時代、幕府の命により街道が整備され、交通の目標として「一里塚」が置かれました。この石はそれを復元したものです。



ウェルとばた
総合福祉施設として整備された建物です。



中原市民センター(礎石)
礎石は同礎石の異変に替えてつくられたもので、国礎石の位置が彫られています。



中原八幡宮 孝子・森節市の碑
戸畑祇園中原大山笠の御宿です。境内には祖孝行ぶりを称えられた森節市の碑があります。



境川(お汐井汲み場)
境川はかつては筑前川と豊前川の合流地でした。戸畑祇園中原大山笠のお汐井汲み場はその河口にあります。

若戸大橋～都島展望公園

古くから発展していた西戸畑エリアには文化財も多く見どころ満載です。都島展望公園や牧山の高台からの眺めは特に素晴らしい、坂道を登る満足感・達成感が味わえます。



都島展望公園
洞海湾を一望できる「夕日の名所」です。



恵美須神社
戸畑祇園西大山笠の御宿です。



御乗船地碑
明治33年、当時の皇太子殿下(後の大正天皇)が戸畑の渡船場から船に乗り、開業間近の八幡製糖所を視察されました。



若山牧水歌碑
若山牧水は生涯のうち、3度戸畑を訪れました。これは昭和2年、3回目に戸畑を訪れた時の歌が刻まれた歌碑です。



大橋公園(お汐井汲み場)
戸畑祇園東・西・大橋寺大山笠のお汐井汲み場です。



大橋公園(大野伴睦句碑)
若戸大橋の完成を記念して、橋の建設に尽力した大野伴睦氏の句碑が設置されました。公園内にはブロンズ像「大風」もあります。



戸畑小学校発祥の地
1871小学校は「瀬戸で初めての小学校」で、明治7年に民家を借りて校舎を刷新し、2年後に恩蔵寺の奥内に河科嘉から兵舎を移築し開校しました。



日本水産ビル周辺
かつては日本の進洋漁業の基地でした。今もノスタルジックな趣が残るこのエリアは市の都市景観賞を受賞しています。



牧山海岸
かつては石炭の輸出港があり、貯炭場がありました。現在は散歩にぴったりの遊歩道が整備されています。



若戸渡船と若戸大橋
「ぼんぼん船」の愛称で知られる渡船はノスタルジックながらも現役で活躍中です。



牧山古墳群
6世紀後半の古墳群でかつては30基程の小塚がありました。現在は2基が整新・保存されています。



若松水遣碑
明治時代、若松に水を運ぶ水遣の開通を記念して、碑が建てられました。水遣水が湧き出たことを記念して、日本では初めてのことでした。



おうま橋
かつて、牧山は牧場で、そこで育てられた馬はこの橋を渡り、全国各地へ送られました。